最優秀賞に越田さん(藍 書道部門盛岡で24日まで展示県高総文祭盛岡で4日まで展示

催)の入賞作が決まり、最 優秀賞に盛岡市立3年の越 道展(県教委、県高文連主 書道部門兼第6回県高校書 第48回県高校総合文化祭 | イクラシックホール岩手で 翠の詩「無題」をしたため 展示される。 た。自然の情景や大切な人 越田さんは、詩人土井晩

日まで盛岡市内丸のトーサ 田玲菜さんが選ばれた。24

作品で、潤渇や流れを意識 を思う気持ちが込められた 情き野外のいわらびなるはまる 去輪公人は名を上者をひとい まいはいけていいともあるん 高も前を私物りあいる 関あられ 見り年く野様うても存んもまる

さんと受賞作 最優秀賞に輝いた越田玲菜

年度の全国高総文祭(秋田 市立の居舘実咲さん、 盛岡商の武蔵鈴さん、盛岡 盛岡四の川澄さくらさん、 ち、盛岡二の舘沢愛美さん げ」と感謝した。 年)が選ばれた。 西舘礼華さん (いずれも2 の久保田美慶さん、北桜の 県)の代表には優秀賞のう 出品され、優秀賞28点、奨 励賞92点などを選んだ。来 選んだ作品。受賞はびっく は「漢字と意味に引かれて は初めて。高校から本格的 る作品に仕上げた。 りしたが先生の指導のおか に書道に取り組む越田さん 品が最優秀賞に選ばれるの た筆遣いでまとまりのあ 県内43校から632点が 漢字仮名交じり分野の作

岩手日報 2025年11月21日付 岩手日報社の許諾を得て転載しています

前10時~午後5時。

の302点を展示する。 午

人選以上(一部を除く)